

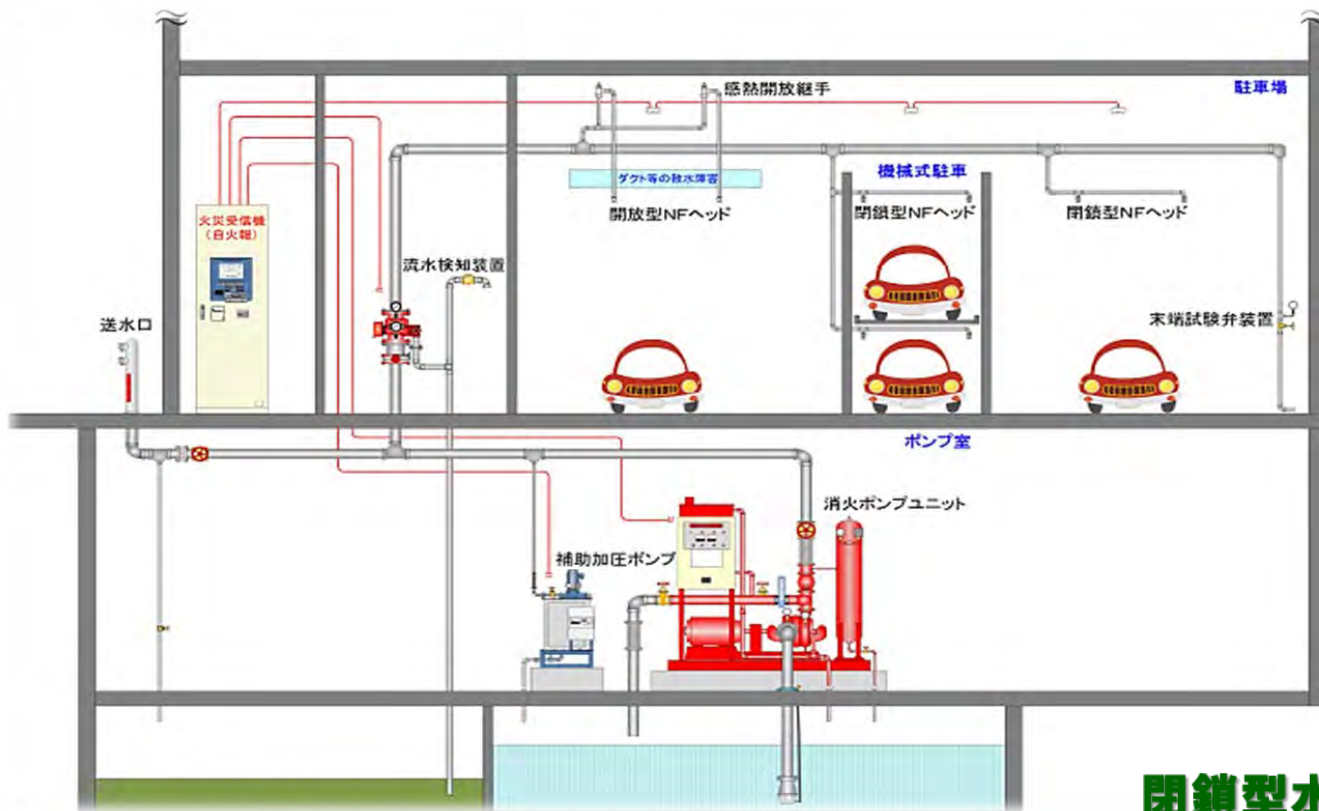
閉鎖型水噴霧設備について

令和7年7月22日
消防庁予防課

閉鎖型水噴霧消火設備の概要について

設備概要と設置実績

- 閉鎖型水噴霧設備は、水噴霧消火設備等（通常の消防用設備等）に代えて、消防法第17条第3項に基づく特殊消防用設備等として大臣認定を受けて設置する設備であり、「火災を自動的に感知し、高圧で水を噴霧状に自動放水することにより、駐車のために供される部分の火災を抑制する設備」である。
- 火災の抑制の評価方法は、「車両火災を模した火災モデル（4MW程度の火熱）が、隣接車両に延焼拡大しないように火災を抑制し、その状態を20分以上維持できるかどうか」である。
- 平成25年に1件目の設置が認められて以降、現在までに計9件の設置が認められている。



閉鎖型水噴霧設備概念図

閉鎖型水噴霧消火設備の設計仕様について

設備設計仕様

令和元年度特殊消火設備の設置基準等に
係る検討部会（第1回）資料から引用

項 目			閉鎖型水噴霧設備		
			高天井用	低天井用	
設備仕様	設計散水密度（標準放射量）		10L/min/m ² 以上		
	設計最大防護面積		106m ²		
	設計同時開放個数		10個	14個	
	加圧送水装置吐出量		1,210L/min	1,700L/min	
	放射時間		20分		
	放射の形態		作動したヘッドから放射		
機器仕様	閉鎖型水噴霧ヘッド	種別		閉鎖型水噴霧ヘッド	
		有効散水半径		2.3m	
		防護面積		10.6m ²	
		放水圧		0.35～1.0MPa	
		放水量		110L/min（0.35MPa放水時）	
		感度種別		閉鎖型スプリンクラーヘッド1種相当	
		表示温度		72℃（閉鎖型水噴霧ヘッド）	
		取付高さ	低天井用	4m以下	
	高天井用		3.5m～10m以下		
排水設備	床面の勾配		a	道路には排水溝に向かって有効に排水できる勾配があること	
			b	床面には排水溝に向かって100分の1以上の勾配があること	
	駐車場排水溝	構造	油分離装置を有していること		
		設置位置	火災による影響の少ない場所に設けてあること		

設備動作フロー（例）

- ## ⑫ 火災を抑制・消火

